



値小だより

島から日本一楽しい学校を
～子どもが未来に誇れる学校～

平成30年4月9日 第1号
校長 酒井 元治

きらきら輝く瞳とともに平成30年度がスタート!

本日(9日)の入学式で小値賀小学校・本校17名、大島分校1名の新入生を迎え、本校は79名、大島分校は6名の平成30年度がスタートしました。始業式の2～6年生の表情を見ていると、キラキラしたものがあって、新たなスタートに向けた子どもたちの期待や意欲を感じることができます。人は誰も間違いを繰り返しながら成長していくものですが、その間違いをリセットしたり、積み上げてきたものを再確認したりして新たなスタートに意欲を燃やすのがこの時期だと、子どもたちの表情を見ていて今さらのように感じるのです。



余談ですが、数年前、東京大学を含む日本の有名大学が年度の始まりを諸外国と同じように9月にしようとする動きがありました。私個人としては、この4月に新たな1年が始まる今の周期の方が好きです。9月始まりだと、しばらくして落ち葉の季節になり日中の長さが短くなる。つまり『暗』に向かうスタートのような感じがします。大人だと滅入ってしまう、心を病む人も増えそうです。それよりはこの4月『明』に向かうスタートの方が、日本の風土や文化に合っているような気がします。様々な生命の息吹と全てのものに恵みを降り注ぐ日差し、加えて小値賀ではキラキラと輝く海原が新たなスタートを飾ってくれているように思うのです。

とまれ、期待と意欲に輝く新年度のスタートです。子どもたちの期待と意欲がこの1年続くように小値賀小学校スタッフ一同誠心誠意努める所存です。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力を今年度もよろしくお願いいたします。

小値賀っ子にたいして4つの力

私が始業式で子どもたちに話したことです。まずは、学校教育目標の確認。一昨年から同じです

「日本一楽しい学校」

何を基準に「日本一」なのか?子どもたちが「ぼくの学校、私の学校、日本一」と自慢ができる学校にしたい、これが私の望みです。子どもたちが**大人になった未来で誇れる学校**をめざします。

小値賀の子どもたちは高校を卒業したら、ほぼ100%一度は島を離れるでしょう。この地を離れた子どもたちが、「**ぼくの学校、私の学校は、最高の学校だったよ。最高の仲間がいて、こんなおもしろい先生がいて、そして何より最高に温かい地域に包まれた日本一楽しい学校だったよ。**」と未来で誇れるそのための今です。

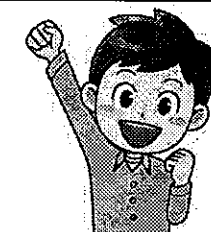
次は、「学校は何をやる場所か?」という質問を子どもたちに投げかけてみました。当然ほとんどが「勉強をするところ」。中には「みんなと遊ぶところ」という子も。それでも当たってはいくはないのですが、私は「大人になるための練習をするところ」だと話しました。大人になると、子どもではできないこともできるようになる。そのためには自分で決めた仕事に就くことも必要。社会の中で人と協力し仕事をしたり、生活したりしていくための練習をし、社会性を培っていくのが学校だと思うのです。(子どもたちにはもっとわかりやすく話したつもり…) いろいろな勉強を通して、その練習をし、失敗し、成功体験を積み重ねていく場です。そして、そのために小値賀っ子につけてもらいたい力は次の4つ。

1 決める力

他人に惑わされずしっかりと自分の考えを持つことができる力。自己の考えを決定する力。

2 表す力

いくら自分の考えをしっかりと持っても、いいアイデアがあっても、だまっけては社会では役に立たない。自分の考えを表現しようという意欲と技能が要求されます。



3 チャレンジする力

失敗を恐れず、苦手なことは少しずつ、得意なことはレベルアップしてチャレンジしようとする勇氣。引っ込み思案では社会で後れをとります。

4 つながる力、つなげる力

一人では仕事も生活もできません。他人とうまくつながりチームをつくってこうとする「つながる力」、なじめない他人も引き込もうとする「つなげる力」です。

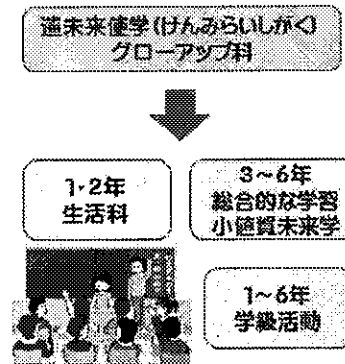
さて、小値賀っ子は4つの力をどこまで身につけることができるでしょうか。

新たな小値賀の教育へ

これまで、小値賀町では小中高一貫教育の中で「遣未来使学」と「グローアップ科」という他の地域にはない新設教科を実施してきました。平成20年度から取り組まれてきた実践でしたが、これまでもかなりいろいろな課題を抱えていました。例えば、5年生で実施している稲作は、活動そのもの（田植えや稲刈り）は栽培活動などを通して人間性を育成しようとする「グローアップ科」なのですが、この稲作を手作りの新聞にまとめたり発表の準備をしたりする活動は、問題解決の技能を身につける「遣未来使学」といったように、指導している私たちでさえ理解が困難な状況がありました。加えて、この10年間で様々な活動が肥大し、本当に子どもたちにつけるべき力が不透明になりつつあるという現状です。



そのため、本格的には来年度から、2つの新設教科（「遣未来使学」と「グローアップ科」）を、小学校では「小値賀未来学」（通称「未来」）とし、その内容を精選・進化させることとなりました。その準備には昨年度から取り組んでいるので



すが、今年度はできるところから試行していきます。そのため、時間割には1・2年生に「生活科」3～6年生に「未来」、そして全学年に「学活」という表記が出てきます。このことについては、PTA 総会でお話ししたり、この学校だよりでも紹介したりする予定です。

また、今年度特別支援学級をもう1教室新設し、昨年まで「ひまわり学級」と呼んでいた教室を「2組」、新たにできた学級を「3組」とすることにしました。

子どもたちには、「例えば水泳が得意な人とそうでない人がいるよね。5mも泳げない人にいきなり50m泳げと言ってもそれは無理なこと。だから、先生方は水泳の時間、得意な人のグループと「ゆっくりグループ」に分けて練習をしています。勉強だって同じ。2組は先生とゆっくり勉強をする教室です。また、3組には、今度走ったり、階段を上り下りしたりするのが苦手な子が入学してきます。その子に合わせた練習もするスペシャルな学級です。」と話しました。

もっともっと日本一楽しい学校をつくる先生の紹介

小値賀小学校

1年1組	宮崎 浩二	1年3組	岸 美智代
2年1組	中島 圭子	3年1組	富永 陽子
4年1組	富永 豊	4年2組	毛利 幸子
5年1組	吉田 貴徳	6年1組	松本 弥世
4~6年理科	中川内 充	養護教諭	永田 早矢
栄養教諭	近藤 けい子	事務主任	前田 稔
用務員	鹿島 智子	英語・1年支援	金子 輪子
スクール ソーシャルワーカー	田口 美津子	心の相談員	中村 裕子
教頭 3~6書写	香田 隆	校長 草刈り他雑用	酒井 元治

小値賀中・北松西校からの乗り入れ

5・6年 音楽	山崎 麗奈 (小値賀中より)	5・6年 体育	大田 勝明
5・6年 外国語	園田 洋子 (小値賀中より)	全学年 外国語	ダニエル・ミラー (北松西校より)

大島分校

1・2年	濱田 順子	3・4年	杉谷 健一
養護教諭	富永 弓月	教頭 (理科・書写・図工)	柴田 泰徳

英語・1年支援に

上の職員紹介を見てお気づきの方もいらっしゃるかもしれませんが、一昨年度まで小値賀中学校の英語の先生として勤務していた金子輪子先生を、英語と1年生の支援の先生としてお迎えしています。金子先生は町に単独で雇用していただいた講師です。全学年の英語活動のサポートと1年生の様々なサポート役として活躍していただきます。1年生には、基本的に給食の時間の前後の時間帯の支援をお願いしています。今年はおかげさまで昨年にも増したマンパワーをいただいている小値賀小です。

